

平成 29 年度 入学式 校長のこたば

ようやく春らしい暖かさとなり、ここ海老名の桜も満開が近づいてきました。本日は、お忙しい中、多数のご来賓も皆様のご臨席を賜り、平成 29 年度中央農業高等学校の入学式を挙行できますことに、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。ただいま入学を許可した 195 名の新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。私たち中央農業高校の教職員一同、在校生一同、心より歓迎いたします。

本校は明治 39 年に開校してから今年で 111 年になる歴史と伝統のある農業科の専門学科高校です。校訓は、「心身をつよくする」、「実践をとうとぶ」、「至誠をつらぬく」です。「至誠」とは「きわめて誠実なこと、まごころ」という意味です。つまり、「心と身体を強く成長させ、実践することを大切にして、誠実に、まごころをもって人や物事に対すること」です。この教えを心に刻み、今後の学校生活の礎にしてもらいたいと思います。

さて、皆さんは今日から中央農業高校の一員となりました。自分で選らんだ学校に、入学試験を受けて、選ばれて、学ぶために、そして、学ぶ意思を持って入学しました。学ぶことを継続するには、興味や探究心が必要です。皆さんが入学した専門学科の科目はもちろん、すべての教科、活動に興味と探究心をもって意欲的に臨んでください。そして、基礎学力を向上させ、技能を身に付け、自分を成長させてください。

また、様々な活動を通して、コミュニケーション能力を高め、磨いてください。コミュニケーションとは、社会生活を営む人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うことです。人と人との、「意思の疎通」、「心の通い合い」ということです。人は一人ひとり、育ってきた環境や経験、性格も好みなどが皆違います。その時々どんな立場にあるか、どんな気持ちでいるかによっても違ってきます。そんな一人ひとりが同じクラスや部活動などの仲間として協力していくためには、コミュニケーションをとっていくこと、つまり「意思の疎通」、「心の通い合い」が必要となります。情報の伝達だけならメールでもできるかもしれませんが、「意思の疎通」、「心の通い合い」は、互いの目を見て、顔を見て話さなければ深まらないでしょう。スマートフォンや携帯電話から手を離して、友達と話をしてください。どうしたら友達と心を通い合わせることができるのか、自分で考えてください。そういう力をつける 3 年間にしてください。

本校の第 1 棟前の芝生に「命はぐぐむ」と刻まれた大きな石碑があります。これは、本校の創立 100 周年を記念して建立された記念碑です。「命はぐぐむ」という言葉は、本校の学校目標である、「いのちを尊重する教育」を象徴しています。まずは自分の心身の健康、命を守る事。そして、農業の学習の中には動物・植物の命のこと、食料のことなど直接命に係わる学習しますが、それらの学習だけでなく、学校でのすべての教科、活動を通して、命を尊び、環境や自然を大切に、思いやりをもって誠実に行動する態度を身につけてください。このような態度を身につけることが「命をはぐぐむ」こととなります。

これから始まる 3 年間の高校生活は、皆さん人生の方向性を決める第一歩となります。それぞれ具体的な目標は違うと思いますが、自分の将来の夢や希望を実現するという点では同じです。その目標に向かって努力し、実現してください。

保護者の皆様にもお願いがあります。高校生になったお子様の姿はどうでしょうか。立派になったと、感慨ひとしおではないでしょうか。しかし、まだ「高校生になったら自分のことは自分で考えなさい。」と、すべて突き放すわけにはいかないと思います。これから少しずつ、自分のことは自分で考えられるようになっていきます。保護者の皆様には、3年後の独り立ちに向けて、もう少しの間は力を貸していただきたいと思います。何か困った時には遠慮なく学校にご相談ください。学校と保護者の連携を密にして、お子様の学校生活、成長を教職員一丸となって支えてまいります。

最後になりますが、新入生の皆さんが今日の喜びを、今の気持ちを心に刻み、心身ともに健康で、これからの学校生活が実り多きものとなることを祈念し、式辞といたします。

平成 29 年 4 月 6 日

神奈川県立中央農業高等学校 校長 高瀬 博昭